

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画、鳴門市環境基本計画		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成	13年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期	未定
(小項目)		エネルギー使用				
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進				
基本事業	1	地球温暖化・省エネ対策の率先的実行				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民、鳴門市役所、学校等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	電気や燃料の使用量を削減し、温室効果ガス排出量を削減していく。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画(計画期間:平成28~32年度)に基づく施策として、ノーマイカーデーやクールビズ等を推進するとともに、エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底を図る。また、市民対象に緑のカーテンコンテストを開催したり、広報などを利用して市民に対する節電への意識啓発に取り組む。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	15,255.8	20,610.7	20,610.7	20,610.7	20,610.7	t

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	平成32年度までの取り組みを定めた第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画に基づき温暖化対策に取り組んだ。市役所内でのノーマイカーデーやクールビズ等を推進するとともに、エコ推進員を通じて省エネ対策の徹底を図った。また、ゴーヤの苗を市民、学校や施設等に提供したり、緑のカーテンコンテストを開催するなど、温暖化防止への取り組みを行った。更に広報などを通じて、市民や事業者の方に対する節電意識の啓発に取り組んだ。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 電力使用量	18,122	20,904	21,400	21,400	21,400	千kWh
	2 温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	15,252.8	21,356.3 (速報値)	20,611	20,611	20,611	t
成果指標 対象にどのような効果があつたかを示す指標	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)	15,252.8	21,356.3 (速報値)	-	-	-	t
	目標達成率(実績/目標)		96.5	-	-	-	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり	事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	70	70
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	70	70
		決算額	0	0	0	0	65	65
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
		0.4	0.5		3,875		3,940	

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	60	65	93	93	93
	うち一般財源	60	65	93	93	93
	人件費	3,779	3,875	3,875	3,875	3,875
	総事業費	3,839	3,940	3,968	3,968	3,968

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		温室効果ガス排出量削減のため、緑のカーテンやノーマイカーデー、クールビズ等の各種取り組みを実施した。
	効率性	B:概ね効率的だった		各所属におけるエコ推進員との連携により、効率的に各種取り組みを実施した。
②成果に対する評価	指標名	温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算排出量)		節電・クールビズ等の各種取り組みを実施し、温室効果ガス排出量削減に取り組んだが、ラニーニャ現象による猛暑等の気象条件や、クリーンセンターにおける廃プラスチックごみ焼却量が増加したことにより、削減率は1.6%にとどまり、目標値5%を達成出来なかった。
	目標	20,610.7	t	
	実績	21356.3	t	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		温暖化対策としての温室効果ガス排出量の削減については、目標値を下回ったものの、節電・クールビズ・ノーマイカーデー等の各種取り組みを推進した。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	地球温暖化対策を進めるには、常に各課と連携・協力をした全庁的な取り組みが必要となる。使用機器の改善など費用面での問題も大きな課題となってくるが、可能な範囲で有効な施策を検討することが不可欠となる。また市職員が、節電等の環境に配慮した行動を率先して実行することにより、全市的な環境問題の意識向上へと繋げると共に、市民・事業者等の団体にも環境に配慮した自主的な取り組みを促していく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画に基づく施策を推進し、市民とともに温暖化の抑制に取り組む。			
	H30年度	第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画に基づく施策を推進し、市民とともに温暖化の抑制に取り組む。			